

- 1 審議会名 武石地域協議会
- 2 日 時 平成25年4月17日 午後7時00分から午後9時00分まで
- 3 会 場 武石地域自治センター 第1会議室
- 4 出席者 新井敦子委員、飯田秀範委員、上野正司委員、大沢春樹委員、金子隆博委員、北沢賢二委員、清住洋子委員、国原敏男委員、児玉卓文委員、滝澤由美子委員、竹内明美委員、中嶋三津子委員、成田英雄委員、樋沢一幸委員、樋澤みどり委員、柳沢裕子委員  
【欠席委員】4名
- 5 市側出席者 渋沢地域自治センター長、児玉地域振興課長、犂山市民生活課長、雨宮産業観光課兼建設課長、北沢健康福祉課長、児玉武石教育事務所長、佐藤地域政策係長
- 6 公開・非公開等の別 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
- 7 傍聴者 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 平成25年4月30日 作成部局課名 地域振興課地域政策係

## 協議事項等

自己紹介（変更があった新委員）

自治会関係団体：下本入自治会長（武石地域自治会長の会長）の児玉卓文委員。

自治会関係団体：藪合自治会長（武石地域自治会長の副会長）の国原敏男委員。

## 1 開 会（柳沢副会長）

## 2 あいさつ（上野会長）

皆さんこんばんは。お疲れのところ御苦労さまです。急に暖かくなり、桜も散り始めましたが、これからは花桃の季節ということで、北沢委員には大いに頑張ってもらいたいと思います。平成25年度スタートするわけですが、新自治センター長の渋沢さん他皆さまに関わっていただくわけですが、今まで以上に御指導、御協力の程よろしくお願ひいたします。協議会とすれば今年は2つのことを進めなければいけないと思っております。

1つは、今進めております地域内分権の確立ということで、この目標は地域の個性や特性が活かされ、地域力が発揮されるまちづくり。平成24年度からその確立にむけた第4ステージの第1ステップの取組みが始まっています。ステップの期間は24～26年の3年間、本年はその2年目ということです。したがって、武石地域協議会でもなにかしら始めなければいけないかなと思います。

2番目として、各専門部会からの発信、部会の皆さんに活発に意見を出してもらい進めていただいております。その中から、取組みが出来そうなもの、あるいは形にできそうなものについてはさらに具体化を検討して、形を作っていきたいと思っております。御指導、御協力をお願いしたいと思います。

暖かくなり、皆さんお忙しくなってきますが、健康にお気を付けいただきそれぞれに御活躍を願ひたいと思います。

（渋沢新センター長）

自己紹介を兼ねてごあいさつしたいと思います。この4月から真田地域からこちらに配属されました。頑張っていきたいと思ひます。これまで農業委員会、一般農政が長かったこと、総務関係、自治会関係と活かされればと思ひます。

合併前には真田町職時代、一年間の民間研修をしました。そこはブルドーザで有名な(株)小松製作所が設立した、財団法人「日本花の会」といい、花を使ったまちづくり花づくり、景観づくりを学びました。十数年前ですが、その関係者とは綿密にお付き合いできておりますので、武石に情報提供、お手伝いできることがあれば、そうしていきたいと思ひます。合併後には、西部公民館に配属、

上田市緑が丘一帯が西部地区ですが、3年間公民館事業で、今日のような部会を設けてやってきました。武石地域へ来る前は、人権男女共同参画課、人権全般、男女共同参画の行政に携わってきました。役に立つことがあれば、どんどん出していききたいと思っております。

明治22年に武石村が誕生して124年築かれた皆さんと共に、わたくしが培ってきたものを精いっぱい活用して思い残すところがないように、と思っております。よろしくお願いいたします。

### 3 報告事項

#### (1) 上田地域わがまち魅力アップ応援事業選考審査会について

(会長) 上田市の9地域協議会の会長、副会長と上田市のわがまち魅力アップ応援事業選考審査会に出席した。その様子を副会長(柳沢裕子)から報告させていただく。

(副会長) 3月28日、午前9時から終日、上田市民会館で9つの地域協議会の正副会長が出席し、9つの申請事業を審査した。

映画の街をキャッチフレーズにグランドとして成立させる事業や松本のクラフトフェアのような大イベント、別所線の将来を考える事業、婚活(結婚活動)や音楽祭、お年寄りの話を聞く傾聴ボランティアなど、多方面にわたり申請があった。皆どれも素晴らしい事業内容だった。この審査の結果から、着実に市民参加の種がまかれ、市民協働のまちづくりの基盤ができつつあると感じた。今年から年3回申請が可能になり、審査回数も増えるのは大変なことと感じた。

もうひとつ、上田城南地域協議会発行の「城南かわら版」をご覧いただきたい。その紙面に地域協議会ってどんな機関なの?という記事が出ている。協議会の内容を伝えるわかりやすい広報紙と思った。私も市民の代表で協議会に出席させていただいている。皆さんにしっかり内容をお知らせしたいので、このような情報紙を出すことにより、武石の問題点も見えてくるのではないかと思う。この「かわら版」のことは後程、会長からお話しさせていただく。

#### (2) 平成25年度武石地域自治センター当初予算の主な事業について

【各課長から説明】

【質疑・意見等】

・なし

### 4 協議事項

#### (1) 専門部会

(会長) 部会に入る前に、新委員の専門部会への班分けを行いたい。児玉卓文委員、国原敏男委員で話し合っ決めていただきたい。また、各部会の資料を付けたのでご覧いただきたい。関連があるので、先程、副会長から話があった「かわら版」についてお話ししたい。

【協議の結果、次のとおり決定する】

・児玉卓文委員...「武石地域全域公園化構想の今後の取組」部会

・国原敏男委員...「活発な地域づくり～おらほの武石づくり～」部会

【資料1～4、事務局で説明】

【質疑・意見等】

・なし

(会長) 先程、副会長から話があったように、城南かわら版のような協議会だよりを発行していったらどうかと思う。地域協議会はどんな活動をしているのか、と知られていない。専門部会で出された意見、提案を地域の皆さんに伝える、お知らせできる。まず、皆さんで発行するか、しないかの議論をお願いしたい。

(委員) 配布物を住民の皆さんが見てくださるのか。配りものが多いので、果たして読んでくれるのか。

・他に意見なし

(会長) これから部会に入ってください。協議会だよりの発行の可否は専門部会で話をしてまとめてほしい。部会長は、部会の内容と協議会だよりについて、3分間ほど発表してほしい。

【議題ごとに協議】

武石地域全域公園化構想の今後の取組について  
活発な地域づくり ~おらほの武石づくり~  
雲溪荘について

~部会長から協議内容発表~

【武石地域全域公園化構想の今後の取組について】

(委員) 原点に戻って何をしていくのか、方向性を確認した。かわら版(協議会だより)は不定期でも重要な課題があれば、出した方がよいのではないかと。

【活発な地域づくりについて~おらほの武石づくり~】

(委員) デマンドの有効利用、朝の1時間前になにかできるのではないかと。商工会主体なので聞いて勉強したい。活発、活性化する地域になるには、民生委員以外でも、近所隣とのコミュニケーションをしていきたい。若い人でなにかできないだろうか。おせっかいと親切の境目慎重に深く話し合っていきたい。かわら版は出した方がよいのではないかと。部会ごとに1ページを使い、2~4カ月に一度でも良い。

【雲溪荘について】

(委員) 進展なし。協議会でも同じ話ばかり、数字をみても万策尽きる。なんとか残そうとする気はあるが4~5カ月間全く同じ議論ばかり。かわら版の発行で雲溪荘を取り上げてもらい、年に1回でも泊まりに来てもらえれば利用者も増えるだろうかと。

(会長) 地域協議会だより(かわら版)は、3部会から出す方向で意見が出た。次回は、かわら版の委員一人を出して、どんな記事を書けるのか持ち寄り、構成を考えていきたい。

5 その他

(1) その他

・美ヶ原高原春のササ刈りボランティア募集について

【担当課長から事業の概要と参加のお願い】

~5月18日土曜日実施予定。参加の御協力をお願いしたい~

・余里の花桃について

【担当課長から事業の概要と参加のお願い】

~花桃 例年より早く見ごろが来そう。PR用パンフレット「あるくお花見じゃ 一里花桃まつり」を作成した。ご利用願いたい~

(委員) 今年は、地域のそば打ち名人にそばを打っていただき提供していきたい。皆様のご利用をお願いしたい。

(会長) 他に皆さんから何かありますか。

(委員) 地域内分権の第4ステージについて、勉強会は始めているのか。地域経営会議を立ちあげないといけないのではないかと。勉強会をやっていないと、上田市全体でやっているのだから、武石も乗り遅れないようにやったらどうか。

(事務局) 上田地域内分権は大事な課題。中核は地域協議会、自治会になると思う。公民館事業とからめながら、協力して検討学習会を今年はやっていきたい。

(2) 次回会議の日程等について

・5月22日(水)午後7時から9時までと決定する。

5 閉会(柳沢副会長)